枚方市の脱炭素地域モデルについて

1. 基本的な考え方について

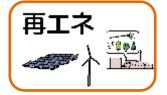
(1) 第2次枚方市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)との関係

次期計画では、地域から脱炭素社会の実現に向けて取り組みを進めていくため、各基本方針を横断する基盤的な地域脱炭素モデルを計画で 示し、取り組みを市域に広げていくことを検討しています。この脱炭素先行地域の取り組みの市民、事業者への拡大に関する事業についても、 第2次枚方市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に、位置づけていきたいと考えています。

(2) 枚方市における脱炭素先行地域のイメージ

①これまで部会で検討してきた「地域脱炭素モデル」で先行地域に生かしていく考え方

<地域内での再エネの地産地消>







【脱炭素先行地域に生かす考え方】

- ●公共施設の再エネを地域内で相対取引。
- ●公共施設、事業者が再エネを自家消費、不足分を地域新電力会 社から購入。

<再生可能エネルギーを活用した電動車の普及促進>



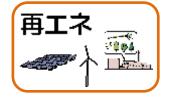




【脱炭素先行地域に生かす考え方】

●公共施設等に太陽光発電設備の設置や再エネ 100%の電力を導入し、EV 車を再エネ由来の電気で充電。

<公共施設の電力消費に伴う二酸化炭素排出量実質ゼロ>



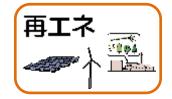


学校•公共施設

【脱炭素先行地域に生かす考え方】

- ●敷地内の大型太陽光発電での発電電力を公共施設で活用。
- ●学校や公共施設での最大限の省エネ化。
- ●再エネで賄えない電力は、再エネ 100%電気を購入。

<電動車を地域防災に活用>



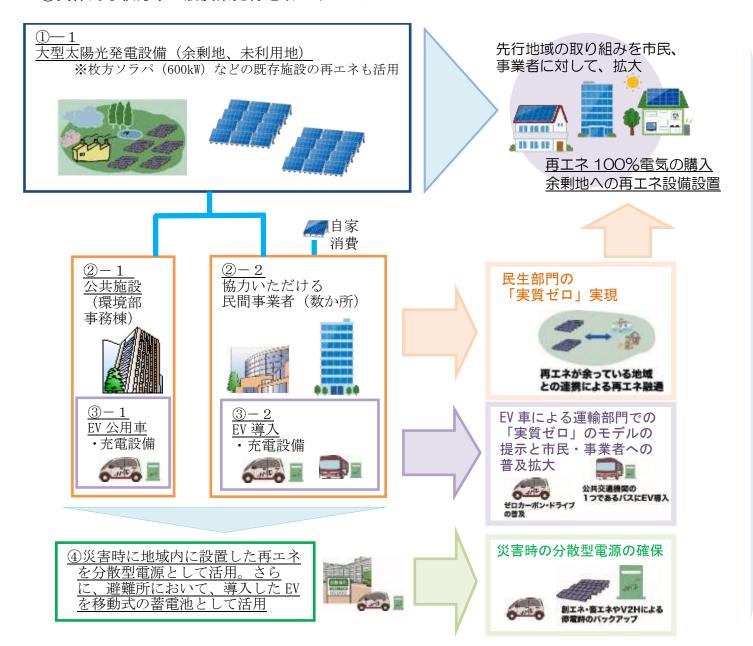




【脱炭素先行地域に生かす考え方】

- ●EV 車を公用車に導入。
- ●災害時に EV 車を非常用電源として活用。
- ●公共施設等に太陽光発電設備の設置や再エネ 100%の電力を導入 し、EV 車を再エネ由来の電気で充電。

②具体的な枚方市の脱炭素先行地域のイメージ



<地域課題の解決>

- ●都市の魅力が高まるこ とにより、人口流入を 促進
- ●分散型電源、移動式電源の確保によるレジリエンスの向上
- ●持続可能な交通体系の 実現やゼロカーボン・ ドライブの普及によ り、環境負荷の低減
- ●脱炭素の視点から多様 な主体によるまちづく りの推進

2. 脱炭素先行地域の取り組みの進捗管理と枚方市環境審議会との関係について

脱炭素先行地域における事業は、第3次枚方市環境基本計画の事業計画(計画期間を3年間とし、1年ごとに見直しを行うローリング方式で進行管理を行う。)に位置付け、取り組みを推進します。

また、「枚方市環境審議会」に本計画の取り組み状況等を報告し、意見・提言を受けるとともに、「ひらかたの環境(環境白書)」やホームページ等で公表します。

